

「地域の防災力向上」に向けた意見交換会を開催

地震・津波災害の防止には、住民一人ひとりが地震・津波に対する知識を深め、防災意識を高めることはもとより、地域が一体となって自らの地域の防災力向上に向けた対策を実施する必要があります。

中部圏地震防災基本戦略の中の優先的に取り組む連携課題の一つである「防災意識改革と防災教育の推進（幹事：三重県）」について、中部圏5県、中部地方整備局の担当者による意見交換を行いました。

開催日：平成25年4月24日（水）

出席者：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県（防災部局、教育部局）
中部地方整備局（防災部局）

内 容：東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議について
防災意識改革と防災教育推進に関する検討会について
担当者会議の進め方について
事例紹介

■ 取り組むべき課題

項目	課題
A.防災リーダーの育成	● 課題1:防災業務に直結する防災リーダー育成の充実
	● 課題2:防災リーダーの活動に関する情報共有・連携
	● 課題3:若い世代の参加促進
B.地域の防災活動・防災教育の充実	● 課題4:地域の災害特性を理解するための取組の充実
	● 課題5:地域と連携した実践的な取組の促進
	● 課題6:今後10年※の間で活用できる防災教育に関する手引きの充実
C.被災記録の活用	● 課題7:県内の被災記録の整理・集約化
	● 課題8:過去の災害から得られる教訓の活用



意見交換会の様子

中部圏地震防災基本戦略への位置付け

東日本大震災を踏まえ、運命を共にする中部圏の国、地方公共団体、学識経験者、地元経済界が幅広く連携し、東海・東南海・南海地震等の巨大地震に対して総合的かつ広域的視点から一体となって重点的・戦略的に取り組むべき事項を「中部圏地震防災基本戦略」を策定しました。

基本戦略では「優先的に取り組む連携課題」10項目の1つに「防災意識改革と防災教育の推進」が位置づけられています。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/senryaku/senryaku.htm>